白水会報

目次

(2)…創立90周年記念祝賀会のご案内
(3)…「創立90周年記念祝賀会」参加費納入方法について
(4)…創立90周年記念募金者一覧
(6)…事業・会計報告
(7)…泉尾工高90周年 略年譜
(8)…会長・新校長ご挨拶
(9)…退職・転任のご挨拶
(12)…各科だより
(14)…社会人1年生
(16)…体育祭・文化祭
(18)…部活動報告
(20)…先生お元気ですか
(21)…泉工青春群像
(22)…こんなかい どんなかい
(25)…訃報
(26)…会員だより
(27)…会費寄付納入一覧

発行所
大阪市立泉尾工業高等学校内
大阪白水会
〒551-0031
大阪市大正区泉尾5-16-7
TEL　06-6552-2221㈹
FAX　06-6554-7612
振替　00940-1-82966
発行人　田中　啓治
編集責任者　白戸　弘

各科応援団旗

Izuo Technical High School

90th Anniversary

大阪市立泉尾工業高等学校
創立90周年記念

母校創立90周年を迎えて

私たちの母校泉尾工業高等学校は今年で創立九十周年を迎える。九十年の歴史を刻めたことに敬意を表し、心からなる祝意を申し述べます。

この九十年の間に、母校は約二万名の卒業生を社会に送り出している。

大阪白水会は泉尾工業高校で共に学んだことを共通項とし、卒業後もその絆を大切にしたいとの願いから発足した団体です。そして母校の発展を心底から願っている者の集まりでもある。

ところで泉尾工業高校の応援団でもある大阪白水会より皆さまに提案がございます。

母校創立九十周年を記念してこの機会に、皆さまのクラスメートが集まってクラス同窓会を開催してみませんか。

どなたかが呼びかけていただくだけで、きっとお互いの声かけがまたたくまに広がっていくことでしょう。高校時代の絆を呼び戻したいという潜在的な欲求を形あるものにしてやってください。

最初に口火を切るのは、どなたの電話か、それともメールか。

創立90周年記念祝賀会のご案内

創立90周年記念祝賀会委員長
大阪白水会会長　田中　啓治

平素は母校の発展にたいし、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、母校大阪市立泉尾工業高等学校は、平成24年10月20日を持ちまして創立90周年を迎える事になりました。

これを記念いたしまして、大阪白水会では記念祝賀会を開催する事となりました。少しでも多くの卒業生の方々に参加して頂き、母校の90周年の歴史を振り返り、大いに語り合って頂きたいと思います。

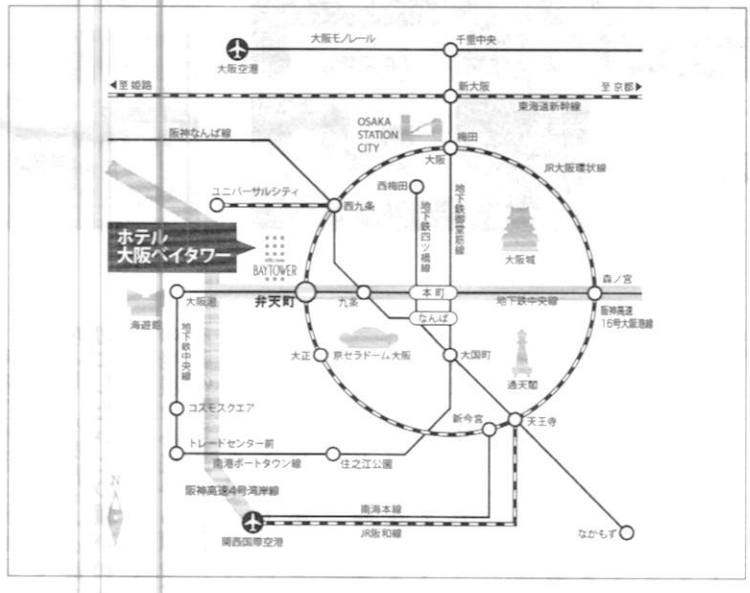
参加方法については、次記参照の上、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 日　時　　平成24年10月20日（土曜）　午後1時00分　受　付
　　午後1時30分　開　宴

2. 会　費　　1　万　円（振込形式）

3. 場　所　　ホテル大阪ベイタワー（弁天町）
　　住所　大阪市港区弁天1―2―1
　　電話　06（6577）1111



「創立 90 周年記念祝賀会」
参加費納入方法について

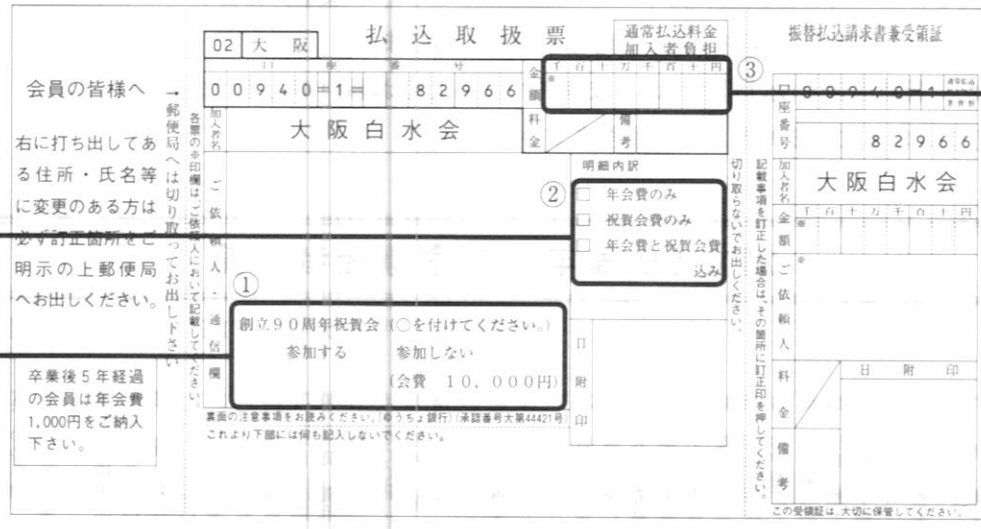
大阪白水会事務局といたしましては、当日の業務の混乱と参加者の人数の把握の為、役員･理事会の同意を得て、参加費納入を振込形式でお願いする事になりました。

何卒、趣旨をご理解のうえ、ご協力お願い申し上げます。

尚、振込み方法は、郵送しております白水会報に同封されている振込用紙で年会費と合わせてご入金ください。

参加される場合は、入金を９月末日までにお願いします。

詳しくは、下記に記載しておりますのでご確認ください。



（記入手順）

① 通信欄の

祝賀会に　参加する　参加しない　のどちらかに○を付けて下さい。

② 明細内訳欄に○を付けて下さい。

□年会費のみ　□祝賀会費のみ　□年会費・祝賀会費込み

③ 金額記入について

・祝賀会に参加しないが、年会費は納める場合　年会費の金額

・祝賀会に参加するが、年会費は納めない場合　祝賀会費の金額

・祝賀会に参加し、年会費も納める場合　年会費＋祝賀会費の合計金額

募金活動の状況について

今年２月より開始いたしました九十周年記念募金は、５月31日現在で、300万円余りの応募を頂きました。これは、趣意書をご理解いただいたものとして、感謝しております。有難うございました。

募金に協力して頂いた方々のご芳名は下記に掲載しております。これからの事業を成功させるためには、全会員諸氏の絶大なるご協力が必要と考えます。

まだ、ご応募されていない会員の皆様も再度、振込用紙を郵送させて頂きますのでよろしくお願いいたします。（すでに協力して頂いた方々にも、お送りしていますのでご理解の程、お願い申しあげます。）

協力募金は、一口五千円としておりますが、金額にこだわらずご応募ください。より多くの方々の力が母校への励ましとなります。

クラス・職場単位でも、今一度お話いただいてご協力お願い申し上げます。

また、記念募金以外にも賛助広告をお願いしております。卒業生が経営または在職しておられる企業にお願いいたしており、現在３件のご応募を頂いております。

まだまだ、賛助広告を受け付けておりますのでよろしくお願い申し上げます。

（締め切りは８月末日までとさせて頂きます。）

創立90周年　記念募金者一覧

中間報告　　平成24年２月１日～平成24年５月31日まで

三〇〇、〇〇〇円
SDF会

●色染・色染工業科
三〇、〇〇〇円
32 六辻 丈夫
二〇、〇〇〇円
16 土谷 英一　37 中村 久住
一〇、〇〇〇円
40 丸井 克行

平14 川上絵利業　平14 北山めぐみ

●ファッション工学科
五、〇〇〇円
29 谷 利行
一〇、〇〇〇円
27 岡田 和幸
31 八野 義計（有志一同）
32 服部奈良次郎　32 西野 幸衛
37 政岡 二郎　38 久保田勇之助
40 平島 真治　40 田仲 稔
41 橋本 正　45 大黒 明
五、〇〇〇円
16 松崎 敏　16 小林 直樹
18 小橋 昇　20 疋田 龍雄
20 宮薗 勇　20 黒田 芳昭
28 竹内 康夫　28 津田 義清
28 川口 洋一　30 伊差川義治
30 巽 昭三　30 田辺 尚
32 近藤 忠雄　35 小浦 洋治
35 廣島 徳巳　37 横田 勝政
39 大慶 寿雄　39 香西 敏幸
40 池田 未男　41 辻 啓三郎
42 平鍋 光寛　43 矢野 章
43 夜久 好信　43 嶋田 一美
44 岩崎 勇次　44 天野はま子
44 和智美佐子　44 寺西 悦子
45 田口健二朗　45 梶浦 俊昭
45 田原 和之　45 岸本 康子
48 木村 千鶴　63 村上 達夫
三、〇〇〇円
40 中丸 和美　51 中尾 美幸
二、〇〇〇円
17 沖 由文
一、〇〇〇円
38 中尾 敏孝

●紡織・繊維工業科
五〇、〇〇〇円
29 谷 利行
一〇、〇〇〇円
13 濱口 幸八
20 中森 楠司
21 村田 嘉三
30 小川 治
32 隈元 博久
36 島崎南海夫
38 山本 健一
42 川島 昇
45 小川 眞澄
五、〇〇〇円
9 安田 育雄
14 森 忠輔
15 櫻井 邦彦
17 眞柴 國彦
20 中村友三郎
20 黒田 芳昭
20 疋田 龍雄
28 津田 義清
28 竹内 康夫
29 玉村 弘
30 岡永 武司
32 堀 義憲
32 馬戸 晃
33 安武 滋夫
36 牧田 武彦
36 井上 弘保
39 笠松 重二
37 桜井 秀実
40 岡田 政男
43 多田 司
44 片山 福代
45 小森 久子
45 井上真知子
45 田中 順子
44 笹山 信恵
40 渡辺 一
47 合志 正美
42 田代 文代
42 志磨村喜代子
38 二見 忠彦
36 林 幸宏
32 三宅 恵一
29 瓜坂 元一
20 藤本 順三
17 吉浦 稔
三、〇〇〇円
48 西 勢津子
二、〇〇〇円
42 樋口多代子
32 岡田孝太郎
20 川端 幾雄
47 勝浦 典子
45 田口健二朗
45 梶浦 俊昭
44 寺西 悦子
44 天野はま子
43 嶋田 一美
43 矢野 章
41 辻 啓三郎
39 香西 敏幸
37 横田 勝政
35 廣島 徳巳
30 田辺 尚
28 津田 義清
28 竹内 康夫
30 伊差川義治
35 小浦 洋治
40 池田 未男
42 平鍋 光寛
43 夜久 好信
44 岩崎 勇次
44 和智美佐子
45 田原 和之
48 木村 千鶴
40 中丸 和美
51 中尾 美幸
二、〇〇〇円
17 沖 由文
一、〇〇〇円
38 中尾 敏孝
一、〇〇〇円
38 十川 征洋
36 舘 徳行
平1 谷口 康子
38 安田 和彦
47 宮下 洋子
40 香川 守雄
28 山中 鉦八
46 坂本 多代

●窯業・セラミック科

一〇〇、〇〇〇円
泉窯会
二〇、〇〇〇円 14 清水 幹雄
一〇、〇〇〇円 40 西田 繁雄
46 永吉 盛光
63 大城 正一
五、〇〇〇円 3 佐坂 光春
15 竹内敬次郎
16 阿瀬川勇二
17 中村 勇
20 佐野 武甫
24 池田 純作
26 中里 宗平
31 浦山 弘治
32 飯田 徳雄
33 白髪 明義
35 久保井勇治
38 東 秀雄
39 山内孝治郎
40 福盛 茂記
41 泉 登喜夫
42 小川 博
44 沖本 仁美
48 今村 清
三、〇〇〇円 27 郡 定也
二、〇〇〇円 42 稲荷 佳樹
一、〇〇〇円 平16 矢合 洋一

●応用化学・工業化学科

一一五、〇二八円
工化会
一〇〇、〇〇〇円 18 大道 邦雄
八〇、〇〇〇円 40 クラス会一同

12 山下 俊彦
46 垣沼 陽輔
41 榎本 俊和
14 柴田 清司
16 藤元 京次
16 佐藤 菊松
17 吉野 繁
18 福井 宏
20 木曽 敏夫
26 中山 武
30 橋本 隆治
32 宮 秀多
33 木内 政雄
33 小谷 一郎
37 浜田 一幸
39 中野 伸郎
39 藤本喜久男
42 石田 高敏
45 金井 禎治
42 高野 和行
45 上野 吉明
20

五〇、〇〇〇円
31 牛一会有志一同
三〇、〇〇〇円 13 松本 諒士
二〇、〇〇〇円 28 濱中 富三
44 深井 史郎
一〇、〇〇〇円 12 喜多 仲次
14 竹花 稔一
18 河村 祐治
27 竹内 栄一
28 塚谷 俊介
30 市山 輝夫
34 中山 良一
37 宇都宮正則
39 三原 良介
40 山本 俊司
40 箱田 稔
45 今村 正
62 菊池 知弘
63 山畑 克明
五、〇〇〇円 10 岡田 孝司
14 桑野 朝蔵
16 平田 稔
17 山荘 一郎
21 高橋 伸禎
27 吉田 時雄
28 藤元 林盛
28 唐崎 正則
28 桑田 進
28 犬飼 功
28 松浦 正幸
30 中谷 省二
30 田淵 博己
31 荒木 雅人
32 辻 欣勇
32 谷口 弘
33 竹内 功三
34 畑 暢一
34 木村 富蔵
34 田坂 覚
34 坂井 輝也
35 吉田 卓弘
35 堀井湧之助
35 小林 功

33 山畑阿威磨
22 大砂古 登
13 木原 陸男
18 宇賀 節雄
28 井上 善介
30 市山 輝夫
34 中山 良一
39 三原 良介
40 箱田 稔
62 菊池 知弘
12 大都城是雄
16 松下 幹夫
17 橋本 博
18 高津 安雄
25 今井 信也
27 山田 雅也
28 筒井 信
28 駒田 司
28 坪田 啓
30 飯田 正勝
34 門脇 二朗
35 三好 正義
35 稲田 隆幸
35 金高 武

36 今里 暎治
36 稲葉十四茂
37 駒田 喜弘
38 中尾 章
39 吉田 恭三
39 野中 征夫
40 浅見 正夫
40 熊田 俊夫
40 貴志 昌高
40 池田 隆司
41 馬場 昭光
41 宮本 誠二
42 高橋 吉男
42 山本 政和
43 伊藤 恵次
45 北田 薫
45 長副 和正
46 白崎金次郎
平3 森 卓司
平22 井澤 真魚
三、〇〇〇円 28 上田隆一郎
31 岡本 國雄
二、〇〇〇円 16 北村 定
42 大段 久幸
一、〇〇〇円
21 手取 一雄
31 大浦 健
45 中野 哲夫
平14 小松 直城

●化学機械科・機械科

一〇〇、〇〇〇円
機泉会
三〇、〇〇〇円 34 佐々木 實
二〇、〇〇〇円 37 間 文彦
一〇、〇〇〇円 18 西島 弘明
34 瀬戸 良明
35 玉崎 継一

36 加藤 高敏
36 馬場 秀侃
38 坂井 尚之
38 奥野 真生
39 勢造 一雄
39 久米 国雄
40 祐伯 信男
40 中沢 明
40 西尾 憲一
41 深井 正輝
41 上田 民雄
42 岸本 哲郎
42 河原 賢治
42 水見 諭史
45 西本 和三
45 西岡 俊和
46 近野 弘之
48 岡部 篤嗣
平8 森 敏彦
30 粟田 雅治
35 郡 喜三
42 朝田 健蔵
41 木村 智弘
42 木下 秀男
45 澤 昭二
47 勝浦 政明
48 福永 智彦
三、〇〇〇円 26 柳澤日出男
35 三府 義和
39 岡田 久男
二、〇〇〇円 18 山元 良祐
38 樽井 貞行
一、〇〇〇円 41 塩谷 孝
61 圓山 猛
20 玉村謙太郎
34 中根 潔
34 稲田 隆幸
41 奥平 俊行
34 大西 弘一
34 中崎 紀夫
35 伊奈 敏治
35 多川 碩一
35 丸橋紳嗣朗
36 要 貢

37 道上 敏
38 笹田 宏司
39 今西 浩二
39 南部 忠彦
41 山野 彰
48 稲地 幸雄
51 金沢 正敏
63 神田 元
平4 山下 剛
平7 林 賢
59 福本 吉秀
平4 松本 聡士
平14 森田 弘基
20 正月 義春
20 上田 亨
21 森 要
24 藤本 正治
25 片岡 祥光
26 柴田 勉
31 平井 利一
32 野口 隆士
32 矢野 勝正
32 藤原乙太郎
32 平井 勲
33 福永 歳蔵
33 松本 正則
二、〇〇〇円 34 三木 啓至
41 稲葉 嘉彦
一、〇〇〇円 48 川上 光男

●旧職員

五〇、〇〇〇円
北村 金明

37 前川金四郎
38 松岡 裕
39 和田 芳雄
40 志磨村和雄
48 稲地 幸雄
平4 桑田 勝弘
五、〇〇〇円 41 中原 英男
41 福永 哲哉
43 渡辺 修
47 梶野千栄延
50 吉田 匡宏
54 安芸 勇
平21 矢合 裕介
三、〇〇〇円 41 河村 保志
41 野口 勇雄
49 西 明
41 藤原 学

一〇、〇〇〇円 41 山口 實
平9 岡本 忠久
六、〇〇〇円 43 大慶 満博

41 松本 敏彦
43 茨 雅章
43 寺田 忠司
48 中田美記雄
52 片岡 登
平2 松谷 貴臣

38 松岡 裕
39 和田 芳雄
40 志磨村和雄
48 稲地 幸雄
平4 桑田 勝弘
五、〇〇〇円 41 中原 英男
41 福永 哲哉
43 渡辺 修
47 梶野千栄延
50 吉田 匡宏
54 安芸 勇
平21 矢合 裕介
三、〇〇〇円 41 河村 保志
41 野口 勇雄
49 西 明
41 藤原 学

一〇、〇〇〇円 41 山口 實
平9 岡本 忠久
六、〇〇〇円 43 大慶 満博

41 松本 敏彦
43 茨 雅章
43 寺田 忠司
48 中田美記雄
52 片岡 登
平2 松谷 貴臣

●電気科

一〇〇、〇〇〇円
41 田中 啓治

41 野上 通樹
45 澤 昭二
47 勝浦 政明
三、〇〇〇円 42 巽 利春
二〇、〇〇〇円

中坪 籌満
一〇、〇〇〇円 上畑 守
雲庭 久
中島 武郎
森 厚三
門野 利正
松下 眞治
巽 公男
五、〇〇〇円 浜中 由朗
濱田真紀子
友田 紀子
藤平 昇三

松澤 義平
沢井 厚
鈴木 明允
吉田 裕
能城 正治
川島 稔夫
樅山 廣之
黒田 誠
増成 徹郎

平成24年度役員（敬称略）

会長　田中啓治（E41）
副会長　檜尾俊明（S32）
　　小川治（D30）
　　谷口猛（C38）
会計監査　尾上一雄（A34）
　　西山瑞彦（M34）
　　磨田昭男（S40）
常任理事長　山口實（E41）
　　白戸弘（A58）

平成23年度事業報告

白水会を考える会　23年10月15日(土)（本校・第二会議室）
役員・理事会　23年6月3日（金）（於　鳥よし本店）
　　23年12月2日(金)・24年3月10日（土）（本校・第二会議室）
会報発行
白水会東京クラブ　23年7月1日（金）
　　23年7月18日（月）（於　スペース築地）
総会　23年7月23日（土）（於　大成閣）
母校後援事業
卒業生を囲む会（6月上旬～6月下旬）
教育後援会を通しての財政援助（10万円／年）
常任理事会　随時

平成24年度事業計画（案）

役員・理事会　24年6月1日（金）（於　鳥よし本店）
　　8月25日（土）
　　9月22日（土）（本校・第二会議室）
会報発行
白水会東京クラブ　24年7月1日（日）
　　24年7月下旬（未定）
総会　24年7月28日（土）（於　大成閣）
創立90周年記念祝賀会　24年10月20日(土)（於　ホテル大阪ベイタワー）
母校後援事業
卒業生を囲む会（6月中旬～下旬）
教育後援会を通しての財政援助（10万円／年）
常任理事会　随時

平成23年度　大阪白水会決算書（平成24年3月31日現在）

〈一般会計〉

収入総額	3,657,176円
支出総額	2,239,755円
差引額	1,417,421円

収入の部

項目	予算額	決算額
会費	1,300,000	1,177,810
予納金	1,100,000	996,000
広告料	180,000	148,750
前年度繰越金	334,616	334,616
90周年事業費	1,000,000	1,000,000
補助金	150,000	0
合計	4,064,616	3,657,176

支出の部

項目	予算額	決算額
会報発行費	2,100,000	1,838,445
総会費	200,000	119,000
新入生歓迎費	180,000	積立会計より支出
会議費	150,000	83,005
教育後援会分担金	100,000	100,000
出張費	120,000	0
母校への部活動奨励金	10,000	10,000
事務・通信費	110,000	71,174
雑費	79,672	18,131
合計	3,049,672	2,239,755

〈積立金会計〉

収入総額	1,737,291円
支出総額	801,565円
差引額	935,726円

収入の部

項目	金額
前年度繰越金	1,736,622
預金利息	669
合計	1,737,291

支出の部

項目	金額
創立90周年郵送料	670,000
新入生歓迎費	131,565
合計	801,565

〈教育基金〉

項目	金額
前年度繰越金	3,009,894
残高	3,009,894

※積立会計より立替金

(一般会計)	(積立金会計)	合計残高
1,417,421	935,726	2,353,147
※創立90周年事業費に運用	1,500,000	次年度へ繰越　853,147

平成24年度　大阪白水会予算書

〈一般会計〉

収入総額	3,323,147円
支出総額	3,323,147円
差引額	0円

収入の部

項目	予算額
会費	1,200,000
予納金	1,100,000
広告料	170,000
前年度繰越金	853,147
補助金	0
合計	3,323,147

支出の部

項目	予算額
会報発行費	2,200,000
総会費	300,000
新入会員歓迎費	200,000
会議費	200,000
事務・通信費	※100,000 160,000
雑費（予備費）	163,147
合計	3,323,147

監査の結果　正確であることを認めます
平成24年3月31日
会計監査　山口　實

平成24年度　新理事

川脇恵理香（F科）
牧野　茜（F科）
木本みさと（F科）
堀田亜友子（F科）
隅谷　千春（C科）
竹谷　華（C科）
長谷川秋也（A科）
平野　昌侑（A科）
吉岡　諒二（M科）
東　将志（M科）
亀井　孝弥（M科）
高松　幸男（E科）
和田　紘明（E科）

ビンゴの賞品提供を！

今年も7月28日（土）の総会のビンゴの賞品をご提供お願いします。総会・懇親会の盛り上げにご協力下さい。

事前に事務局へご連絡いただくか、会場へご持参下さい。

泉尾工高 90 周年　略年譜

年	月	事　項
1921（大正 10）	9 月	大阪市立泉尾工業学校設立認可。 紡織科・色染科・窯業科設置。総定員 500 名。修業年限 5 年。
1922（大正 11）	3 月	応用化学科を新設。総定員 650 名。
	4 月	大阪市立市岡商業学校内の仮校舎にて授業開始。
	10 月 20 日	本校舎竣工、仮校舎より移転（この日をもって創立記念日とする）。
1923（大正 12）	12 月	大阪市立工業学校より応用化学科 3 年生以下全員を本校に移管される。
1924（大正 13）	3 月	第 1 回卒業式（応用化学科 22 名）。
	5 月 27 日	実習工場竣工。
1926（大正 15）	3 月 31 日	大阪市立泉尾工業専修学校併置（夜間課程）。
	5 月	大阪白水会創立総会開催。
1929（昭和 4）	6 月 4 日	校旗樹立式。
	9 月 21 日	室戸台風により約 1.6m 浸水、復旧に約 10 日要す（授業再開は 10 月 2 日）。
1935（昭和 10）	10 月 1 日	併置の大阪市立泉尾工業専修学校、大阪市立泉尾第二工業学校と改称（夜間課程）。
1937（昭和 12）	10 月 1 日	応用化学科に第 2 部設置（昭和 15 年 3 月迄）。
	年末	校歌制定（旧校歌：作詞　平林治徳、作曲　信時潔） 日中戦争の激化にともない、出征会員が増えて来たので、大阪白水会より慰問品を送る。また、会報には毎号出征会員の特別寄稿（陣中通信）目立つと共に戦死報相次ぐ。
1939（昭和 14）	4 月 1 日	学則改正、化学機械科増設（定員 875 名）。
1941（昭和 16）	12 月	太平洋戦争勃発にともなう戦時非常体制のもと「中等学校最高学年在学者ニ対スル臨時措置ニ関スル件」の通牒により修業年限が 3 ヶ月短縮され、5 年生は 12 月卒業となる。
1944（昭和 19）	4 月 1 日	紡織科、色染科の募集が中止され、応用化学科が工業化学科に、化学機械科が機械科に科名変更。窯業科、工業化学科、機械科のみとなると共に増募（定員 1,200 名）。修業年限が 1 年短縮され、4 年となる。 「学徒勤労令」が公布され、教職員・生徒でもって学校報国隊が組織され、工場等へ動員される。
1945（昭和 20）	4 月	4 年生と 5 年生同時に卒業。
	9 月	枕崎台風襲来、本校浸水。
1946（昭和 21）	4 月 1 日	学則が改正され、紡織科、色染科、窯業科、工業化学科設置。修業年限 5 年、定員 800 名。大阪市立西島工業学校応用化学科を本校に合併。
1947（昭和 22）	4 月 1 日	学制改革、新制中学校併設、2，3 年生編入。
1948（昭和 23）	4 月 1 日	学制改革（6・3・3 制実施）。大阪市立泉尾工業高等学校と改称。紡織科、色染科、窯業科、工業化学科、化学機械科設置。修業年限 3 カ年、定員 720 名。旧工業学校 5 年生、新制泉尾工業高等学校に編入。
	5 月 2 日	生徒会発足。
1949（昭和 24）	3 月	旧制工業学校最後の卒業式（112 名卒）。新制工業高等学校第 1 回卒業式（46 名卒）
1950（昭和 25）	9 月 3 日	ジューン台風襲来、浸水のため授業を中止し、全教職員・生徒復旧作業を行う。
1952（昭和 27）	10 月 17 日	大手前会館での 30 周年記念行事で新校歌（作詞　今中楓渓、作曲　高木和夫）発表。
1956（昭和 31）	4 月 1 日	化学機械科の定員 240 名となる。
1958（昭和 33）	6 月 7 日	講堂兼体育館落成。
1962（昭和 37）	4 月	1 クラス定員 44 名となる（1 年生より）。
1963（昭和 38）	4 月 1 日	電気科新設（定員 1080 名）。紫電会創立発会。女生徒初めて入学する（色染工業科に 1 名）。
1964（昭和 39）	4 月 1 日	西館竣工（主として、化学機械科、電気科の実習工場と教室）。
1967（昭和 42）	4 月 26 日	窯業科かま場煙突取り壊し。
1972（昭和 47）	5 月 27 日	化学機械科新実習工場竣工。
1973（昭和 48）	6 月 2 日	繊維工業科新実習棟第 1 期工事（1 階部分）竣工。
1977（昭和 52）	1 月 17 日	窯業科 12 年卒　山下俊彦氏松下電器産業（株）（現パナソニック）社長に就任発表。
1978（昭和 53）	5 月 10 日	旧繊維工業科、色染工業科実習棟の撤去完了。
1982（昭和 57）	2 月 26 日	工業化学科新実習棟竣工、窯業科新実習棟一期工事完成引渡し。
1983（昭和 58）	3 月 31 日	窯業科校舎完成、50 周年記念館改築完成。
1988（昭和 63）	10 月 22 日	校舎改築記念碑建立（昭和 6 年卒　村上三島氏揮毫の校訓の碑）。村上三島氏記念講演行われる。
1993（平成 5）	4 月 1 日	ファッション工学科発足、繊維工業科、色染工業科の募集停止
1998（平成 10）	11 月 3 日	応用化学科昭和 6 年卒村上三島氏文化勲章受章。

90周年記念事業に向けて

大阪白水会会長（E41）田中　啓治

白水会会員の皆様こんにちは。今年は母校創立90周年の年です。

私が入学した昭和38年に電気科の建物（現在の西館）が建ちその後すべての校舎の建て替えが行われ、西館が今では泉尾工業高校では一番古い建物になりました。先日電気科を訪問した時に実習室の見学をさせていただいたのですが使用していない設備もあり実習機器の老朽化が残念です。これは電気科だけでなく他の科でも予算の関係で設備の更新が進んでないそうです。

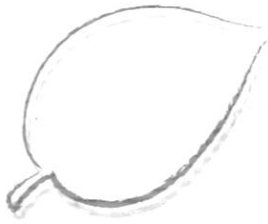
今年から西館の耐震補強の工事も始まり校舎のリニューアルが行われるそうですが設備も更新されることを期待いたします。

少子化の影響で昨年度の1年生から各科1クラスに縮小され2年後にはファッション工学科・セラミック科・工業化学科・機械科・電気科の5科15クラスになります。生徒数の減少は寂しいことですね。

90周年記念事業につきましては去年9月に第1回の実行委員会を開催して以降、記念式典・記念誌発行・記念品選定・記念祝賀会等の準備を校長先生始め、教職員・PTA・教育後援会の皆様と協力して行っております。

大阪市長が橋下さんに代わり市立高校の大阪府への移管又、工業高校の統廃合等のうわさもあります。

伝統有る泉尾工業高校のさらなる発展のために大阪白水会会員の皆様の記念行事への参加およびご協力をお願いいたします。



第十七代校長として

新校長　小西　正晃

白水会の皆様には、平素より本校の教育活動に温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

平成二十四年四月、泉尾工業高校に赴任した小西です。校長としてはまだまだ未熟ですが、泉尾工業高校が創立九十周年を迎える記念すべき年に就任したことを大変嬉しく思い、またその責任の重さを痛感しています。

さて、泉尾工業高校への転任が決まった時に、私は、様々な方々からお祝いや激励の言葉をいただきました。その多くは「泉尾工業といえば、大阪の工業高校の中では名門校だよ」「泉尾工業は、松下電器産業（現パナソニック）の山下俊彦元社長をはじめ、立派な卒業生をいっぱい輩出している学校だよ」というものでした。

しかしながら、一方で大阪市立の高校は、現在、すべての学校が大阪府への移管という難しい時期を迎えています。また、都会の工業高校はその多くが志願者の減少や中退者の増加という課題を抱えています。

このような状況の中、本校においても五学科の生徒募集は、すべて1クラスとなり、これ以上できないほどのスリム化が図られました。すなわち、転換期となる困難な時期にあって、泉尾工業高校がその存在感を如何にアピールしていくのか、本校はまさに正念場を迎えています。

そこで、私は創立九十周年の今年こそ、生徒・教職員は勿論のこと、PTA・後援会・同窓会が一丸となって名門工業高校の復活をめざす第一歩の年にしたいと決意しています。

具体的には、入口の生徒募集、中身の学校生活の充実、そして出口の進路決定という三つの側面で健闘していかなければなりません。同窓の皆様には、特に入口と出口の場面でご（　）いただきたいと思っております。そのためにも、お近くにお越しの際には是非とも母校の校長室を訪ねていただき、ご助言をいただきますようお願いします。

以上、泉尾工業高校復権のためこれまで以上のご支援とご協力をお願いし、簡単ではありますが就任の挨拶といたします。

24年度　主な学校行事

9月28日（金）	球技大会
10月20日（土）	創立記念日
11月9日（金）	創立90周年記念式典
1月28日（月）～31日（金）	文化祭
2月20日（水）	修学旅行
3月5日（火）	前期入試
	卒業式

母校訪問の際は…。

平成22年4月8日より正門のくぐり戸が電磁ロック対応となりました。平日8時40分から15時10分までに母校を訪問されるときは、「来客用」インターホンを押して下さい。事務室が対応いたします。

泉尾工業高校への思い

前校長　巽　利春

白水会会員の皆様には、母校ならびに生徒の活動にご協力をいただき本当にありがとうございました。退職までの3年間、大過なく職責を果たすことができましたのも、ひとえに皆様方のご支援の賜物と感謝いたしております。今振り返りますと非常に短い年月であったと同時に、愛着のある学校という思いで一杯であります。

私の専門は機械で、それまで都島工業、東淀工業、生野工業と工業高校3校を経験して参りましたが、泉尾工業は初めての勤務校でしかも課題のある学校と聞いておりましたので、果たしてどれほど務まるものかと正直不安でありました。

そして同窓会総会、東京白水会などに数回出席させていただく機会を得、諸先輩方に直接お話しを伺う中で、皆様方の母校を慕っておられる気持ちに触れることができ、母校愛の強いことも感じました。

しかしながら、母校は生徒の急減期の荒波を受け、結果として私の在職中に工業化学科、機械科、ファッション工学科が学級減となり、平成25年度には全科1クラス体制の15クラス・600人定員となる予定であります。諸先輩方の在学時からは想像もできないくらいの小規模校になりました。

今母校を取り巻く環境は就職を例にとれば、日本のものづくりの海外移転の問題、技術イノベーションの必要な製品開発などに象徴されるように、進路は決して楽観できる状態ではありません。そして不確かではありますが府市統合の問題も提起されております。

いずれにしましても母校がこれからも目指す方向は、①目的意識の高い生徒の確保と退学者の減少、②基礎学力の充実指導と高い資格取得、③広範な進路先確保とその実現、④部活動の活性化と実績、⑤地域等からの高い支持・支援と評価、⑥情報発信と周知、などの取り組みではないかと思います。

私自身、泉尾工業高校を少しでも活性化し認知度を高められるよう教職員ともども取り組んできたつもりでありますが、実際どこまで達成できたかわかりません。白水会の皆様方からはお叱りを受ける結果であったかも知れません。しかしながら、いつまでも泉尾工業高校の繁栄を期待している一人として、これからも微力ではありますが皆様方とともに母校を支えていきたいと考えております。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

転任にあたってのご挨拶

小西　基裕

新緑のまぶしい季節となりました。大阪白水会会員の皆様にはますますご健勝のことと存じます。

さて私は、4月27日付で転任となりました。平成21年4月に泉尾工業高等学校に転勤になり、今年は教務主任2年目ということで、「さあ、これから」と気合いを入れた矢先でした。3年1ヶ月という短い期間でしたが、歴史のある工業高校でたくさんのことを学ぶ機会に恵まれました。また、内から見る泉尾工業高校は、大正区を中心に地域に根ざした基幹的高等学校として地域の教育の柱となっているその役割の大きさを知ることができました。そのうえ、今年は創立90周年という大きな節目を迎える年であり、90周年記念行事の実行委員会にも総務副委員長として参加しておりましたので、泉尾工業高校の教職員として創立記念日を迎えられないのが非常に残念ですが、泉尾工業高校教職員の皆さんや白水会、PTA、教育後援会、泉会、友泉会の皆様方とともに伝統校の節目をお祝いしたいと思っております。そしてこれから次の節目へと泉尾工業が新たな歴史を積み重ねていかれることを祈念しております。

それでは長くなりましたが、泉尾工業高校と大阪白水会のこれからますますのご発展を心からお祈りいたしまして、転任のご挨拶とさせていただきます。

（大阪市立視覚特別支援学校　教頭）

卒業生の皆様へ

松島　直樹

泉尾工業高校で二十一年間の長きにわたり勤務させて頂きました。本校着任当時はまだ社会人としては未熟で、驚くことばかりでした。

まず職員数が百人を超え、その人数の多さに圧倒されたこと、先輩の先生方の中には勤続四十年を超える方がおられたこと、生徒達はわがままな割には人懐っこく、慣れるまでに随分苦労をしたことなどが思い出されます。さらに印象的だったのは着任した年に体験した体育祭でした。あのやんちゃな子たちが、ものすごい統率力で下級生をグイグイ引っ張っていく姿を見て「自分は生徒じゃなくてよかった」と思ったほどでした。応援団をはじめ背景や今では行われていない仮装についても生徒達が非常に熱心に取り組む姿に感動したことをよく覚えています。

私が着任した時には色染工業科だった学科も繊維工業科と発展的解消の末、ファッション工学科として生まれ変わり、その創設に少なからず携われたことはとても幸せなことでした。

伝統的なことを生かしつつ新しいことに取り組んでいけるこのチャンスを逃すまいとして懸命に授業や実習に取り組めたことが今の私につながっていると思っています。

振り返れば泉尾工業高校在任中には四度も担任をさせて頂きました。また、三年生で副担任を持たせていただいたクラスなども合わせると、非常に多くの生徒と出会うことができました。彼ら、彼女らはすべて私の宝物です。

卒業し、社会に出た時に第一線で活躍することができる生徒を育てることが私に与えられた使命だと信じ仕事に取り組んできました。時折第一線で活躍している皆さんが同窓会をしてくれたり、電話やメールなどで近況報告をしてくれることがあります。この仕事をしていてよかった、と心から思える瞬間です。

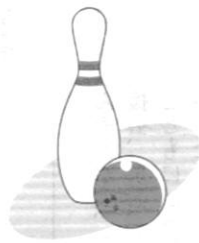
さらに、担任以外では教務課・進路指導課・生活指導課でも仕事をさせていただきました。それぞれの仕事はハードでしたが、多くの先生方との交流が密にあり、楽しく仕事をすることが出来ました。

部活動では生徒や先生方にご迷惑をおかけすることが多かったと思います。特に思い出されるのは平成十三年度に行われた全国高等学校対抗ボウリング選手権大会です。前年度末に指導が出来る先生が転勤され、後を引き継ぎましたが、私は技術指導はできませんから選手たちには大変迷惑をかけたと思います。

しかし、そんな悪条件の中、選手たちは快進撃を続け、ついに優勝を果たしました。特に、決勝戦ではTVカメラが回るというプレッシャーがありました。それをはねのけ優勝を果たした選手たちの姿を忘れることができません。

四月からは住み慣れた泉尾工業高校を離れ、扇町総合高校で理科の教員として仕事をしています。何分全く環境が違うもので苦労の連続です。工業高校では当たり前だった実習はなく授業ばかり。しかも、総合学科なので科目数が多く予習が大変です。さらに一年担任をまかされ、一日があっという間に過ぎていきます。しかし、泉尾工業高校での経験を生かしながら一歩づつ前へ進んでいこうと思います。

最後になりましたが、泉尾工業高校及び白水会の今後益々のご発展を祈念いたします。本当にお世話になりました。ありがとうございました。



ご苦労さまでした

平成24年4月1日

氏名	教科等	転出先等
巽　利春	校　長	定年退職
関野　恭平	機　械	定年退職、本校非常勤
寺田　博	美　術	定年退職、本校非常勤
坂本　秀敏	工業化学	定年退職、府立堺支援学校
三津井智子	セラミック	任期満了
岸本　圭司	電　気	任期満了、府立淀川工科
岡本　信一	国　語	任期満了
小西　基裕	工業化学	視覚特別支援学校教頭
松島　直樹	ﾌｧｯｼｮﾝ工学	扇町総合
伊藤　由紀	ﾌｧｯｼｮﾝ工学	第二工芸
田中　利美	国　語	東淀工業
遠藤　幸治	工業化学	東淀工業
半仁田　源	理　科	中央
藤原　哲郎	数　学	中央
高松友香里	家庭科	東淀工業
長田　尚子	司　書	汎愛

いの残らないように高校生活を送ってください。思い出をたくさん作れる学校生活を過ごせば良いと思います。人間関係や成績、自分の能力等、悩む事はたくさんあると思いますが、その経験はとても大切なものになると思います。そして楽しく学校生活を過ごして下さい。

社会人としての責任

M平24卒　吉岡　諒二

卒業して、早や一ヶ月が過ぎ、現在、IHIインフラシステムという、橋梁やダムや高速道路の建設を事業とする会社に就職しました。最初は、仕事をしているというよりも高校の時の授業を受けているような感じでしたが、三週間目からは、各部門の現場実習が中心になり、特に溶接の実習は防毒マスクをつけながら、高校では取り組んでなかった、炭酸ガス溶接や半自動溶接など、より専門的なことも実習に含まれ、上司の方々の指導を受けながら、毎日毎日が新しいことの連続で、緊張しっぱなしです。正直、へとへとになって帰路に着くという繰り返しでした。

僕が思ったことは、学校では、授業料を払って勉強を学ぶ場で、終始、受け身のようなところがありましたが、会社では、入社した日から給料が発生し、自分の時間が自分だけのものではないという、責任の重さがあるということ。

僕がこの一ヶ月で思ったことは、学生の間は、正直「だるいなあ」と気を抜くこともあったし、校則を守る意味もあまり考えることもなく、ただ過ごしてた部分が多かったが、会社に入ると、特に現場は安全第一で、規則には厳しく、一人の気のゆるみが皆を危険にさらすことになるような結果にも繋がりかねないということです。

そこで、学校の規則というものも、社会に出てからの準備運動として充分、守るべきことだと思います。学校だけに限らず、社会　ルールを守るということは、社会人としての当然の義務であると思います。

最後に、在校生のみなさん、学校のルールを守りながら、楽しい高校生活を送って下さい。

社会人一年生

E平24卒　髙松　幸男

在校生の皆さん、お久しぶりです。そして、新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。さて、社会人一年生として、在校生、特に新入生の皆さんに、私が学校生活で学んだこと、そして社会人になって、現在勉強していることをもとに、メッセージを送ります。

私は現在、クボタシーアイという、水道管パイプ等を生産する会社に勤めています。まだ現場実習ではなく、社会人としての必要最低限のマナーや知識、心得などを学んでいますが、まだまだ勉強すべきことが沢山あります。

社会人になって学んだこと、それは「素直になること」と、「目標を立てること」です。

私自身の悪いクセで、意見に対して拒否から入ったり、失敗を認めず言い訳をしたりしてしまいます。上司の方に注意を受けて、直すように取り組んだ結果、話し合いなどが気持ち良く行えました。先生や先輩に対して時に対立することもあると思いますが、まずは相手を受け入れてから、素直に自分の考えを伝えて下さい。

そして、人間は、どんなに小さなことでも、目標を立て、達成していくことで成長します。私自身、資格取得などの目標を立てながら、日々努力していますが、少しずつ成長しているのを感じます。

最後に。学生でも社会人でも、大切なのは「真面目に生きること」です。堅苦しい考えかもしれませんが、とても大切なことです。勉強、部活動、遊び。他人に迷惑をかける行為ではないならば、真面目に全力　取り組むことです。それはいつかきっと、かけがえのない財産になるはずです。

私もまだまだですが、このメッセージで皆さんの学校生活がより意義のあるものになれば、幸いです。

☆ナイス製品☆
マーガリン・ショートニング
ラード・フライングオイル
製造・販売
植田製油株式会社
〒658-0024　神戸市東灘区魚崎浜町17番地
TEL (078) 451-2361　FAX (078) 412-0991

第90回 泉工 体育祭

『燃やせ闘志 深めよ団結力 一心不乱に駆け回れ！』

のテーマで開催された、泉工90周年目の記念すべき体育祭は、五月晴れのもと華やかに行なわれました。今年度、応援の部表彰は、感動賞が3科に贈られました。

各科応援団長の衣装となった、道着及び袴は、大阪白水会より寄贈されたものです。本当に有難うございました。

平成24年度　体育祭　成績一覧表

		1位	2位	3位
総合成績		電気科	機械科	工業化学科
学年成績	1年	機械科	電気科	工業化学科
	2年	電気科	機械科	工業化学科
	3年	電気科	機械科	工業化学科

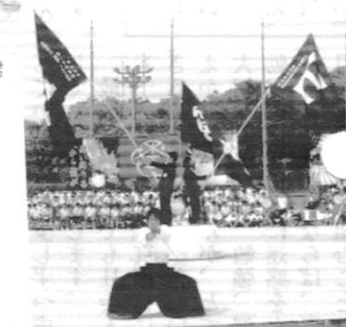
	感動賞	感動賞	感動賞
応援	ファッション工学科	機械科	電気科

	感動賞	技能賞	創造賞
背景	工業化学科	セラミック科	ファッション工学科

ハリケーンリレー		電気科	―	
4周リレー	1年	ファッション工学科	機械科	セラミック科
	2年	ファッション工学科	電気科	機械科
	3年	機械科	工業化学科	セラミック科
綱引き		電気科	機械科	セラミック科・工業化学科
むかで	1年	電気科	機械科	セラミック科
	2年	ファッション工学科	機械科	工業化学科
	3年	工業化学科	ファッション工学科2組	セラミック科
対科リレー		機械科	工業化学科	ファッション工学科

大阪白水会より寄贈された
5科応援団長の衣装

選手宣誓　F科3年1組　田中　諒君



尾工業高校を少し認知度を高め職員ともども取つもりでありまこまで達成できません。白水会のお叱りを受けるかも知れません。いつまでも泉繁栄を期待して、これからもますが皆様方と支えていきたいます。引き続きろしくお願いい

第89回 泉工 文化祭

静花さんらの芸を堪能しました。文化祭の表彰は以下の通りです。

第 89 回泉工文化祭

展示の部

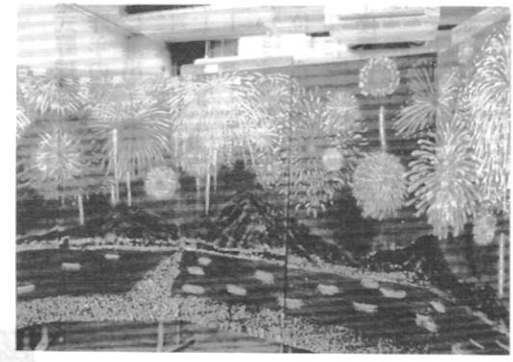
絆　賞	「がんばろう日本！」	1E
共感賞	「芸術の秋」	1F
	「作品展示」	美術部
	「TEXTILE」	テキスタイル部
感動賞	「Den Den 電気の元気を日本に届けます!!」	2E
	「Petit Chandelier」	2C
技術賞	「ソーラーカー・エコデンカー」	自動車部
	「写真展示」	写真部

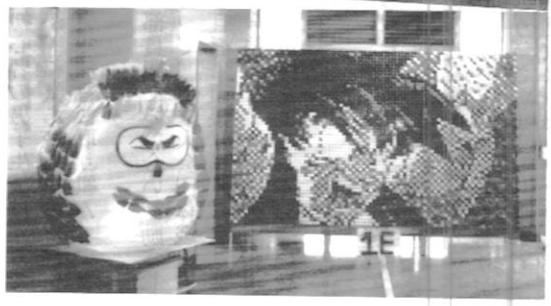
ステージの部

感動賞	「3M1 ガチでイきましょう」	3M1
努力賞	「IKC31」	2F1
技能賞	「刈谷とゆかいな仲間たち Z」	映画研究部

ポスターコンクールの部

グッドアイデア賞	「セラミックス展」	1C
	「がんばろう日本！」	1E
ポップ＆キュート賞	「IKC31」	2F1
	「flours de marriage mirella collection」	3F2
ユーモア賞	「ばーびーのつもりです。」	2F2
	「ぼっかけうどん」	2C
	「軽おでん」	軽音楽部
アートデザイン賞	「ワッフル屋さん」	クッキング部
	「作品展示」	美術部
	「Vinyl Impact」	2A





運動部の活動

硬式野球部

現在1年生9名、2年生9名、3年生4名（女子マネージャー）で毎日活動しています。おかげ様で人数の方もようやく紅白戦が出来るまでになり、部員の方も元気よく活動しています。今年度は創立90周年を迎える節目になる年でもありますので何とか卒業生の方々に喜んで頂ける様、全力投球していく覚悟ですのでご支援、御協力の程、宜しくお願いいたします。また学校内で、他の生徒の見本となれる様にクラブ活動だけではなく、学校行事等にも積極的に参加し、努力していきたいと考えております。

サッカー部

一時期は部員が1人までに減り、サッカー部存続の危機とまで言われました。しかし現在、2年生4名、1年生7名が在籍しており、なんとか1チームできるまでににぎわってきました。中には経験者も初心者もいますが、経験者の知識と、初心者の斬新なアイデアをぶつけ合いながら日々練習しています。

決してまだまだ上手とは言えませんが、練習を通して、サッカーの技術だけでなく礼儀作法や人間性も高め、プレーヤーとしても、一人の人間としても、一人前といわれるよう、これからも活動に力を入れていきます。（温かく見守ってくだされば幸いです。）

柔道部

卒業生のみなさん、柔道部OBのみなさん、こんにちは。

昨年度の柔道部は、大阪府の強化選手として全日本ジュニアの大阪府マ　に60kg級で2名出場、インターハイ予選ではベスト16、夏の総体では、個人戦60kg級で準優勝という成績でした。部員たちは少人数ながら日々熱心に稽古に励んでいます。今後ともよろしくお願いいたします。

軟式テニス部

今年の三月に創部のきっかけになった部員が卒業して人数は減ってしまいました。（3年生3名、2年生6名、1年生1名）が元気に活動しています。公式戦での中央大会進出を目指していますが壁は厚くなかなか叶いません。もう少し新入生の部員を増やして練習を充実させたいと考えておりますので、応援よろしくお願いします。

軟式野球部

昨年の夏、大阪大会ベスト8に進出するも初芝富田林高校に敗れました。その想いを胸に、新チームは17名とマネージャー2名で活動を行っています。秋の工業大会は第3位、市立大会は決勝で都島工業に2－1で敗れてしまい準優勝になりました。この冬は、厳しいトレーニングを課しそれを乗り越えて、春の練習試合に、愛知県遠征を行いより力強いチームに生れ変れました。春季大会は浪速高校2－1で敗れましたが力の差はあまりありません。この夏、全国大会出場を目指してがんばりますので、また応援よろしくお願いします。

バドミントン部

一人でクラブを支えていた三年生が卒業し、二年生部員が二人となり淋しく感じていたところ、新入生が6名、二年生が1名入部し、賑やかなスター、切りました。

初心者の男子生徒ばかりですが、和気あいあいの雰囲気の中で練習に取り組んでいます。

部員間で競い合い、励まし合って、市立大会団体戦入賞を目標に頑張ります。

今後とも、先輩方のご指導とご声援をよろしくお願い致します。

ラグビー部

昨年度は少人数校の近畿選抜として全国大会に出場の際、ご支援いただきましてありがとうございます。相変わらず部員数は少ないですが入部した部員は皆、努力を続けていますので細々ながら頑張っていきたいと思います。

陸上競技部

陸上競技部は部員のいない状態から、2年前に新入生が4人入部したことで復活しました。現在も部員はその4人だけですが、長距離班、短距離班とも、日々のトレーニングを大切にして頑張っています。

昨年度は、長距離班が念願の大会出場（信太山クロスカントリー）を果たし、アップダウンの激しいコースを見事完走しました。

彼らは最後の年を迎えまし

たが、これから新入部員が増える事を祈りつつ、引退の日まで精一杯頑張って欲しいと思います。

水泳部

現在、水泳部は2年生が男子2名、女子1名、1年生が男子1名の計4名の部員で活動しています。例年、ゴールデンウィーク中にプール掃除をおこない、5月からプールでの水泳練習を始めています。大会は6月に大阪高校総体、8月に大阪高校対校と市立大会、9月に大阪高校新人大会があります。また合同の記録会もあり、積極的に参加しています。部員数は少ないですが、自己記録の更新と大会での好記録を目標に毎日、明るく元気よく練習しています。先輩の皆さまの応援よろしくお願いします。

卓球部

平成24年度の卓球部は新入部員1名を加え、4人でのスタートを切る事となりました。最近の2年間は入部する生徒が減少し、顧問と部員が一体となって対策を練りながら頑張っています。

昨年度の戦績は、市立新人大会団体戦で3位になりました。選手が一丸となって声を出し、接戦に勝利を制しての結果でした。

いよいよ5月には国体予選、インターハイ予選が始まります。今年度も卓球部OBの皆様のあたたかいご声援を受け、頑張りたいと思います。

女子バスケットボール部

春も始まり暖かくなってきましたが、卒業生の皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

私達女子バスケットボール部には四人の新顔が入ってくれました。目標はとりあえず夏の大会です。初心者には、慣れない事が続いてつらいかもしれませんが、一緒に頑張りたいと思っています。ボールに慣れてもらうための基礎練習や体力を使う2メン等もやっています。しかし、教える側も慣れておらず手探りの試行錯誤をしています。

勝てるよう頑張りますので、応援して頂けると嬉しいです。

お願い

白水会の運営のあり方について、会員各位のご意見をおよせ下さい。

多くの方々のご投稿をお待ちいたしております。

文化部の活動

軽音楽部

現在、軽音楽部の部員は、3年生が5名、2年生が9名、1年生は9名、合計23名で活動をしています。

日々練習をし、学校内では、新入生向けクラブ紹介、文化祭、卒業生送る会などを主に活動しています。

学校外では、『市立軽音祭』、軽音『天下統一』、『We are Sneaker Ages』、大正区『T-1グランプリ』等々に参加しています。

学校内外での活動で、生徒間や地域の人たちとの交流を少しでも広げることができればいいなと思っています。

テキスタイル部

我がテキスタイル部は、2004年10月に同好会として発足しました。コツコツと活動の範囲を広げ、翌年度の2006年1月には部に昇格し、さらに校内外へと活動の場を拡大しました。1つには長期休業期間を利用して、京都などへ校外見学へ行ったり、大阪で行われる催し物へ参加したりしています。2009年9月にはNHKの番組に取り上げられる、といったこともありました。

近年では10月に行われる「あきないまつり」と、「産業教育フェア」がおもな参加活動の場となっております。

自動車部

毎年、夏にソーラーカーレース、秋にエコデンレースと、製作した車輌で、各レースに出場しています。この春に、大正工業若葉会との連携の1つとして、その車輌を譲り受けました。夏の鈴鹿で開催されるレースには、その車体に改良点を加え、出場する予定です。

更なる学校のレベルアップにつなげ、ノウハウの伝授を目標にしています。

またエコデンレースでは昨年、バッテリー部門・充電池部門の2部門に出場しました。こちらも今までの技術を活かした記録更新を考えています。

これを機会に、今後も技術の向上を目指していろいろなレースに参加していきたいと思います。

陶芸部

新入生の入部がまだですが、ここ数年は少ない人数でのんびりと作品づくりに取り組んでいます。

一昨年度より、社会人陶芸講座を実施しており、夏休みに部員にも手伝ってもらって

います。参加費は掛かりますが、二日間ですのでよければご参加ください。募集は区民だよりに掲載される予定です。恒例の市立芸術祭は、天王寺の市立美術館で開催されます。本年度も出典に向け、工夫を凝らした作品づくりに臨みます。

卒業生のみなさんもどうぞお顔をのぞかせてください。お待ちしています。

美術部

今年も新学期がスタートしましたが、現在の部員数は3名で全員3年です。今年第一の目標はまず部員を増員することです。新入部員の加入により部を元気にして例年のように活動したいと思います。昨年は文化祭で部として恒例になりましたベニヤパネル5枚の共同制作を"花火"のテーマで描きました。部員よく頑張って生徒会より展示の部で共感賞、ポスターコンクールの部でアートデザイン賞を頂きました。今年も文化祭等に作品を発表出来るよう部員が仲良く活動に取り組み、より多くの成果が上がるよう努力いたします。

吹奏楽部

現在3年生1人、2年生3人、1年生3人の合計7人で楽しく活動をしています。新年度に加わった1年生はチューバ吹きの待望の男子！トランペット、パーカッションはそれぞれかわいいおてんば娘です。昨年度の校外での活動は、3000人の吹奏楽、市立高校芸術祭では2校合同（泉尾工・鶴商）、鶴町フェスタ、大正区区民祭り、第6回フレンドシップコンサートでは、4校合同（泉尾工業・淀商業・咲くやこの花・鶴見商業）の演奏会など活発に活動を行いました。また、夏には大阪府吹奏楽コンクールに9人で出場し、北地区大会小編成の部で昨年度も奨励賞ときらめき賞を頂きました。老人ホーム大正園での交流演奏会においては、OB・OGの方々のご協力で、今年も無事に演奏会を行うことが出来ました。

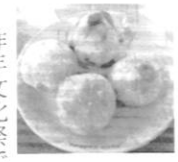
校内の活動では、人数が少なかった為、顧問の先生方にお手伝いを頂き、なんとか演奏をさせて頂くことが出来ました。

昨年度も少人数でしたが、活発に活動をすることができたのはOB・OGの方々からたくさんのご協力、ご支援・応援の声を頂いているからだと部員全員が大変感謝をしています。本年度は創立90周年記念祭でOB・OGの方々と協力し、記念演奏をさせて頂くことになりました。

少人数ですが、今後も音楽を楽しみながらクラブ活動を活発にしていきたいと思っています。

クッキング部

現在クッキング部は、2年生11名で活動しています。先日は新入生体験入部日にクッキーを作りました。放課後の活動は主に和洋菓子を、短縮中などの長時間活動できる時に、ごはんものを作っています。



昨年文化祭では、ワッフル屋さんをしました。今年はどんなお店しようか、みんなで案を出しあいながら日々活動しています。

写真はいちご大福です！

漫画研究部

現在部員は、三年生が男子三人、女子二人の計五人です。男子二人は運動部と兼部していてそれぞれに忙しく、なかなか集まって活動できていない状態です。それでも、それぞれに描いた作品を毎年文化祭で展示しています。文化祭へお越しの際は是非ご覧ください。

先生お元気ですか

吉原　孝博 先生

大学を卒業した昭和四十八年から、五十八年まで十年間お世話になりました。学級担任も二度経験し、今なお、その時の生徒達と同窓会をしています。泉工では多くの先生方から、様々な事を教えていただきました。テニス・スキー・ゴルフといったスポーツを通して仲間意識が重要か、その後の教師生活にどれほど役立ったか、本当にありがとうございました。

その後、淀商業高校・天王寺商業高校に勤務し、平成二十三年三月に退職し、現在住吉商業高校に再任用教師として、毎日元気に勤めています。飽き性な　が、野球部の監督三十二年・担任生活二十九年もよく頑張れたなーと驚いています。住商では野球部も離れ、放課後の自由を楽しんでいます。

地域では昨年の中坪先生も書かれていた様に、私も奈良県のシニアのソフトボールの試合に平群町代表として参加し、何度か中坪先生のチームとも対戦させていただきました。六十才以上の人ばかりですが、元気でレベルの高さにびっくりしてます。

今、楽しみにしているのは、前任校の仲間と年に一度平和学習で、旅行に行くことです。広島・鹿児島・沖縄・その場に行ってはじめて知る出来事に、クラブ馬鹿だった私には、考えさせられる事ばかりです。少しでも仕事に役立ったらと思っています。

最後に、泉工在職中から、とても仲の良かった木谷先生が、淀商業在職中に亡くなられて、本当に淋しい気持ちで一杯です。

心よりご冥福をお祈りします。

（昭48～58年　体育科ご在職）

泉工青春群像

C 60　長谷川　峰子

私が窯業科を卒業したのは、今から27年前の丁度、就職難が始まったころでしたが、先生方のご尽力のお陰で、中山製鋼所に入社出来、現在に至ります。

27年間の間、公私共にいろいろ有りました。

中山製鋼史上初女子社員での結婚後も勤続し、育児休暇取得、出産後の職場復帰、不景気のあおりでの構造改革でリストラ対象になり、人事からの肩たたきの攻撃、協力会社への出向。私生活では、結婚、長女の妊娠・出産、不妊治療による双子の妊娠・長期の管理入院、帝王切開による出産、産後3ヶ月での離婚と、喜びから悲しみのどん底へと続き、実家に戻ってからは勤めながらの家事、育児、父の介護（肺がん末期）、母の認知症に付き合い、平成17年の3月と12月に両親を失いました。

今、考えると両親に対しては本当に後悔の念ばかりです。

『親孝行したい時に親はなし』と言う事を、身をもって経験しましたが、両親は人が歳をとって、死んでいく生き様を、身をもって私に教えてくれたのだと思います。

又、この全てを乗り越えられたのは、守るべき3人の子供達がいたからだと思います。

今、家族や友人・会社関係で悩んでいる方は、たくさんおられると思いますが、『人の生き死に』を見て私は何事に対しても前向きに考えるようになりました。

どんな悩みも人の生きる、死ぬ、と較べたら乗り越えられるじゃないか…、

離婚で経験した6年間の家裁調停は、離婚に悩む女性に調停の仕方をアドバイスし、血縁に認知症の疑いがある知人には話しを聞いてあげ、自分の経験を話しました。

自分が経験したことは、辛いこと、悲しいこともありましたが、経験が糧となり自分の財産となりました。

現在、大学生の娘と中学生の双子と一緒に生活出来、住居・仕事にも困らず、食べていけるのも、泉尾工業窯業科を卒業出来たからです。

ですので、母校は？と聞かれたら、私は胸を張って『母校は泉尾工業窯業科です』と答えます。

お堅いお話はこれくらいにして、ライフワークをお話します。

双子を出産後お決まり通り、体重〇キロ増…、会社復帰しても戻らず、双子が3歳の時、小学校（PTA新聞のバトミントン部の紹介を見て、これだ～！と思いました。

小学校の体育館なので近くて天候に左右されない、金曜日の夜なので都合が良い、一番の決定打は1回200円でした。早速、電話し体験へ。一つ読みが甘かったのは私が考えているより、半端じゃないくらいハードだったことでした。半年も経たず体重は元に戻り、現在も週2回は続けています。

それともう一つ、2年半前からベリーダンスを始めました。

妹が運営している20～50代の女性の教室にですが、ベリーだけじゃなく皆との関わりも楽しく、ベリーを通じて若い子の友達の輪が広がり、中之島祭りのステージや住道のチャリティバザーでも踊らせて頂き、韓国のベリー大会にもシニアの部で参加し2位を頂きました。

このたび、白水会のご縁で、90周年祝賀会でもダンスを披露させて頂くことになりました。

記念行事のステージではラストに皆様方ともご一緒できるフリーダンスタイムがありますので、是非参加お願いします。

相続・事業継承／知的資産経営／成年後見／入管手続をサポートします。
行政書士　山野　彰（M41年卒）
一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター会員
日本行政書士連合会　申請取次行政書士・著作権相談員
※相談は初回無料、お気軽にご相談ください。
山野行政書士事務所　tel/fax 072-365-6070
Gmail:yamano0308@gmail.com　携帯 090-5673-6725

若さと元気のもとは
ウォーキングと山歩き!!（元登山部）
山歩き＆登山をご一緒しましょう。
登山用品は（株）ケンコー社
大阪市北区豊崎1－3－11
TEL　06－6374－2788
FAX　06－6374－2256
中村　久住
（D37卒）

こんなかいどんなかい

恩師に元気のエールを！（D45）

前回の同窓会より早いもので十年以上が経ち、還暦を迎える年代になりました。

その間、恩師六辻先生が病と向き合いながら頑張っておられる事を知り、さっそくクラスのメンバーに連絡、先生のお体を配慮しながら同窓会を開催しました。先生も皆に会うのを楽しみにしておられ、どうすれば元気のエールを届けられるか、私なりに悩み考えた結果、出欠にかかわらず返信用ハガキにメッセージを書いてもらいました。そして"絆"と題しアルバムを作成、当日のサプライズとして先生に贈呈しました。とても喜こんで頂き、心温まる皆のメッセージが届いた様子をみて、私も最高の思い出の同窓会となりました。

このアルバムを写真にとり、後日返信のあった人に郵送、「次の機会には必ず先生にお会いしたい」「次は必ず参加します」との返事を頂きました。同級生のうち、2名は永眠しましたが、残された私達は、こういった会を通じて絆をより深めていきたいと強く感じた一日になりました。

（東田多津子　記）

いいおじさん集合（M54）

2011年7月9日、S54年化学機械科卒の同窓会が大正駅前のとある飲食店で催されました（幹事近藤）。1組の副担任であった門野先生も来られ、19時から22時までの3時間、各自の近況報告を皮切りに、仕事や家庭・子どもの話、そして高校時代の裏話などで大いに盛り上がりました。

出席者は以下のメンバーです。1組が北島・高木・津田・長藤・村上、2組が有本・垣端・近藤・島井・末藤・中井・平城・松田・松永の以上15名でした。中には仕事の関係で出席できなかった人もいたのですが、15名ものメンバーを集めた幹事さんの奮闘には感謝の限りです。

私の記憶の中に、32年前の高校生の姿で眠っていた生徒が50歳のおじさんになって現れ、卒業アルバムの集合写真と見比べました。すぐにわかった人もいれば、しげしげと顔を見ても、誰だったかなぁと、名前が出てこない人もいましたが、時間の経過とともに、皆いいおじさんになっていても、やはりどこかに高校時代の面影を残していました。

今回の同窓会に関し、連絡がとれなかった人も多かったと聞いています。また今後も、同窓会を開こうということになっていますので、この白水会報が届かなかった人は、自分の住所を泉尾工業高校の同総会担当の先生に連絡してください。

（文責：小西）

C60年卒同窓会

昨年11月19日（土）心斎橋『黄金の鱗』で第3回同窓会を行いました。

第1回から少しずつですが人数も増え、今年は新たに大澤君、泉野君が参加してくれました。

榎本先生は泉工の職員生活を退職されましたが、小学校のいきいき指導員として、活躍されております。昔と全く変わらず（恐ろしいくらい）アルコールも、お強いです。

副担任の福本先生にもお声をかけましたが、ご多忙で今回は残念ながら不参加でしたが、お詫びの書面を頂きました。

今年も第4回同窓会を秋に予定していますので、C60の皆さん参加お待ちしてま～す！

連絡先　長谷川　峰子
minmin_j@yahoo.co.jp

D63年卒同窓会

早いもので前回の同窓会に参加をしてから月日が経ちました。久しぶりに、先生や仲間と顔を会わせると、まるで高校時代にタイムスリップしたかのように思い出話に花を咲かせ、楽しい時間を過ごす事が出来ました。遠方（名古屋や鳥取）から参加された方も本当にありがとうございました。一年一年色々な事があったかと思いますが、参加された先生をはじめ皆さんが笑顔でお話をされている姿がとても印象的でした。特に六辻先生の笑顔は最高でした。私自身も嬉しく思う瞬間でした。

又、当時は、お話する機会が少なかった先生ともお話する事ができ私の事を覚えていて下さっていたことが生徒として、すごく嬉しく思いました。「先生って凄いですね。」私は現在パソコン教室のインストラクターをしており、研修の日々を送っております。私は先生と呼ばれる職業に就くとは思ってもいませんでしたが、実際にやってみて先生の仕事の大変さを身を以て感じました。また、六辻先生や宇佐美先生からアドバイスを頂き、とても感謝しております。同窓会に参加するまでは色々悩んでおりましたが先生のお言葉の力は本当に凄いと改めて痛感致しました。それまでのモヤモヤしていたものが軽くなりました。本当にありがとうございました。

最後に同窓会の企画・セッティングをしてくださった、来村（川上）さんや中村さんをはじめ多くの方々に感謝いたします。また、このような機会がございましたら参加させていただきたいと思っております。次回は是非、白戸先生ともお会いしたいと思っております。先生又仲間の皆さんどうぞご自愛下さいますよう心よりお祈り申し上げます。最高の同窓会をありがとうございました。

（中森　基晴　記）

硬式庭球部OB・OG会

昨年10月23日、10年ぶりに国本（E59）と長谷川（C60）の幹事でOB・OG会を行いました。

1部の母校泉工テニスコートでの親善試合には、元顧問の上本先生（現汎愛高校校長）が見学に来られ、西本先生（現桜ノ宮高校）が参加され、14名と少ない人数でしたが、学生時代に戻り（気持ちだけで身体は無理！）楽しい一時を過せました。

一部　泉工テニスコートで
いつまでもお若い西本先生を囲んで

凄かったのは西本先生で、堺市シニアNo.2と言うだけあって（自称）、何人も挑戦しましたがOB達はコテンパにされてしまいました。

2部は心斎橋『黄金の鱗』で、安藤先生（現桜ノ宮高校）他、数人も加わり、昔の話や現在の身の上話で大笑いし、総勢24名の賑やかな3時間を過ごしました。

その後3部では弁天町の金星先輩（C58）のお邪魔させて貰い、更に盛り上がり、次の再会を楽しみにお開きにしました。

今回、10年ぶりに会を開いて大怪我された方、亡くなった方、行方の判らない方等が数名おり、OB・OG会の大切さを痛感しました。

国本先輩と相談して1～2年に1回は会を行い又、HPも立ち上げました。

今年も10月前後の予定で開催いたしますので是非、ご参加お願いします。

泉尾工業硬式テニス部OB・OG会HP（昨年、開催した写真も見れます）
http://sports.geocities.jp/izuo_tennis_ob2001/index.html

この1枚

昭和32年第39回全国高等学校野球大会
大阪大会　準優勝

憧れの甲子園出場をかけた全国高等学校野球大阪大会に於いて、我が泉尾工業高等学校が決勝戦まで勝ち進むという快挙を成し遂げました。

惜しくも決勝戦で寝屋川高校に4－2で敗れたものの「よくぞ奮闘泉尾工へ万雷の拍手」という見出しを新聞記事より発見しました。

朝日、サンケイ、読売など各新聞社に、初戦より勝ち進んでいく泉工球児たちが大きく取り上げられました。当時レギュラーメンバーであった、C33年卒　進藤恒夫氏、M34年卒　中根　潔氏にご提供いただきました資料を基にその記録をご紹介いたします。

昭和32年8月5日(月)　読売新聞

きょう晴れの決勝戦
寝屋川か、泉尾工か
両チームとも初の出場

河本・対抗寝屋川の打力

決勝戦出場メンバー		クラス
（遊）	玉城	3C
（二）	進藤	3C
（三）	飯野	3C
（中）	西谷	3D
（投）	河本	3C
（一）	小林	3M
（右）	水島	3C
（左）	加藤	2M
（左）	中根	2M
（捕）	安里	3A

泉尾工〔決勝〕まで

1回戦	4	－	0	生野工
2回戦	1	－	0	西野田工
3回戦	3	－	1	布施工
4回戦	1	－	0	関大一
準々決勝	5	－	3	天王寺
準決勝	3	－	0	北野
決勝	2	－	4	寝屋川

決勝スコア												
泉尾工	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	4
寝屋川	0	0	0	0	0	3	0	0	1		

私の宝物

第11代校長　濱中　富三（A28卒）

彼らはもう還暦を過ぎ孫達の話をする年代になっている。

現役時代、彼らには過酷とも言える課題を連続して与えたものだ。彼らの中には消極的に反抗するものも居たが、態勢としては渋々ながらやり遂げていたように思う。

彼らの中には業務を通じ学位を授与された複数のものや、刮目すべき業績を挙げ社会に大いに貢献し、且つ、未だに後進の指導に当たっているものなどがいる。

彼らとは言わずと知れた、私が担任した教え子達である。

昨秋、40Aの連中が〝喜寿の祝いをしてやるから出ておいで〟と声をかけてくれ、奈良の片田舎から喜々として、久しぶりに大都会に出てきた。

また、今冬は酷寒であったが、42Aの有志が〝風邪引いてないか。喜寿の祝いを暖かくなってからと考えている。都合をつけるように〟とこれも嬉しい知らせがあって、二年連続で喜寿を祝って貰った。

東京、名古屋（40A）、丸亀、長野（42A）等遠距離を厭わず駆けつけてくれた教え子達に思わず頭が下がる思いであった。

彼らの近況報告を兼ねた祝いの言葉は、それぞれ含蓄のあるフレーズであふれ、彼らの往事の姿を思い描きながら聞き惚れ、思わず感動の涙腺が緩む思いであった。

人生の辛酸をなめ尽くしたもののみが語りうる、格言にも似た至極のセリフは、私には老いを生きる教示でもあった。

〝次は先生の米寿と我々の古希を一緒に祝おう〟と言う。彼らの古希と私の米寿は一致しないが、繰り上げ祝いも佳しと彼らは豪快に笑う。

平均余命に至っているが、自分のためだけではない、教員の使命と考え精々長生きするようつとめたいと思っている。

近畿地方は言うに及ばず、広範囲に在住する教え子達は私の生きた宝である。

長寿の慶賀

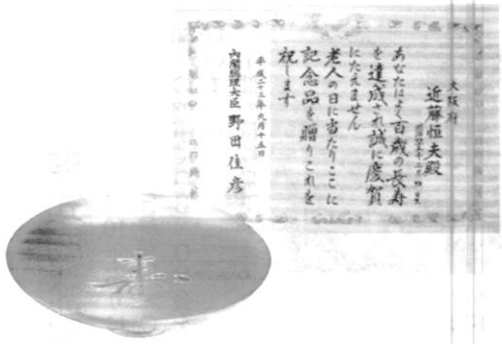
A6卒　近藤　恒夫

拝啓　時下　貴会ますますご繁栄のことお慶び申し上げます。

さて、このたび、内閣総理大臣より、去る老人の日（九月十五日）の「百歳の長寿」を慶賀する記念品（銀杯）の実物をいただきましたので、まことに有難くとりあえず、ご報告申し上げる次第です。

まずはご連絡まで。

敬具



一筆啓上

好運・強運の橋　明石海峡大橋

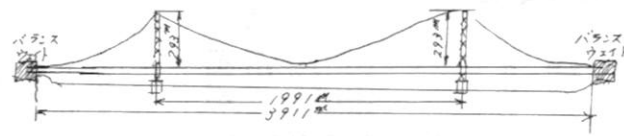
M18　第1期生　西島　弘明

本州・四国を繋ぐ長大橋、明石海峡大橋。全長3911m・橋脚間1991m・主塔高さ293m、吊橋（ゲルバートラス）としては世界最長。

S40年来建設計画あるも、当時の技術レベルでは未知の分野ばかりであり夢物語の世界であった。大正7年建設の米サンフランシスコ、ゴールデンブリッジ、ゲルバートラス1800m長も研究の対象となるも高嶺の花であった。

そして技術、設計、製作能力もやっと実現可能の領域まで進みH10年来製作着手となる。H17年略99%完工直前、予期せぬ大地震に遭遇。明石、神戸一帯はM8に見舞われる。

完工直前99%時点であったので、当初の強度が充分発揮され、耐えることが出来、損傷個所もなく竣工。進捗率70%以下であったならば倒壊していたものと推定され好運の第一である。そして更に明石側橋脚基礎が日本海側に1mズレ橋脚間1990mが1991m（再測定の結果）これまた一　以上のズレであったら倒壊したものと推定され、設計時点で橋脚移動は全く考慮されておらず、強運の第2である。従って当初の橋脚間1990mは1991m、全長3910mは3911mとなる。



予期せぬ自然災害とは云へ、工事施工のタイミングも、ベストタイミングであったと思われ、もし倒壊となれば、多数の作業者の人命、工期の無期限延引、莫大な復旧費用等、全く好運、強運の橋であると思います。

追記

かつて大阪中心部より伊丹空港まで高速道路建設の際、中間に河（土佐堀川）があり横切らざるを得ないが、架橋地点にビルがあり、止むを得ずサケルためS字橋となったが強度計算に3ヶ月要した。

これでは駄目と、米よりS38、1.8億にて計算機購入。改めて計算すれば、3日間で完了。技術レベルの差を痛感する。

元松下電器産業（現パナソニック）社長 山下俊彦氏死去

本年2月28日、元松下電器産業（現パナソニック）株式会社社長の山下俊彦氏が、老衰のため死去された。92歳。葬儀は近親者で営まれ、お別れの会が4月18日リーガロイヤルホテルで営まれた。

山下俊彦氏は1937年（昭和12年）、本校の前身である大阪市立泉尾工業学校窯業科を卒業され、松下電器産業㈱に入社。関連会社に出向後、復社してエアコン事業部を任された。74年取締役となり、エアコンのシェアをトップに引き上げた。

77（昭和52）年、創業者の故松下幸之助氏から指名を受けて、創業家以外から初めての社長に抜てきされた。また、工業学校卒業の学歴で大企業の社長に就任することでも、世間の注目を浴びた。

社長在任中は、組織改革を推し進め、ビデオレコーダーの分野でVHS方式を推進し、ソニーとの《VHS対ベータ戦争》に勝利した。

一度は撤退したコンピュータ事業にも取り組み、「家電の松下」から総合電機メーカーへの礎を築いた。

社長時代にはアフリカ最高峰のキリマンジャロ峰などに登られた。また、ボーイスカウト大阪連盟長として、青少年の育成にも心を配られた。

86（昭和61）年10月18日校舎落成記念式典の当日、山下俊彦氏の記念講演をいただいた。

訃報

平成24年2月28日
山下　俊彦氏
（元松下電器産業株式会社社長・昭和12年窯業科ご卒業）
92才

御一名の卒業生の訃報に接しました。謹んでお悔やみ申し上げます。

創立80周年を迎えた編集子の想い（2003年再録）
90周年を迎える今も、この想いは変りません。

伝統とは人である

私たちの母校泉尾工業高等学校は昨年創立八十周年を迎えた。

十月十九日の記念式典や祝賀会には多数の卒業生諸氏も出席し、祝意を表した。また、大阪白水会の八十周年記念募金には多くの方からの協賛が寄せられた。

八十年の間に、母校は約一万八千名の卒業生を社会に送り出している。

私たち一人一人はその一万八千分の一ではあるが、一万八千を代表する一人でもある。

私たち一人一人の存在が、この学校の歴史を形作ってきたのであり、同時に社会に対してこの学校をアピールして来たのである。

在学中も含めた私たち一人一人の活動の積み重ねが今日の泉尾工高なのである。

それが伝統というものではないだろうか。人の一生にも相当する八十年という歴史の重みを、さらに多くの方々と共有するきっかけを八十周年記念諸行事は与えてくれたのだと確信している。

これからも歴史が積み重ねられ、伝統に厚みと深みが加えられていくことであろう。この作業に私たち一人一人がより積極的に取り組みたいものである。

編集後記

今秋、90周年記念事業を迎えるにあたり、本年度の会報は会員の皆様方へのご協力をお願いする呼びかけで埋まりました。記念行事がどうか無事に盛会となることを係一同願っています。栄えある伝統、先人に続けと頑張っています。

母校のホームページを見て下さい。

ご存じの方も多いと思いますが、母校のホームページの内容が更新されております。

学校案内だけでなく、各科の紹介や体育祭、文化祭の内容などもその都度新しくなっております。

『泉尾工業高校』で検索するだけで、母校の近況が分かります。

皆様からのアクセスをお待ちしております。また、ご意見、ご感想などもお寄せ下さい。

（http://www.ocec.ne.jp/hs/izuo/index.html）

会員だより

母校によせられた会員の方々の近況をお知らせいたします。会費納入、住所変更などの機会にどしどしお便りをお送り下さい。

S37　政岡　二郎
S37卒業生の皆様お元気ですか？2012年3月で卒業満50年になります。記念同窓会をしたいと思っています。奮ってご参加ください。

S44　田仲　稔
北新地で水商売を経営して39年目、卒業した頃は夢にも思いませんでした。

S44　寺西　悦子
S44卒、クラスのみんなお元気ですか？大阪白水会で、お会いしましょう！

S45　岸本　康子
3月、私の誕生日に父が旅立ちました。90歳。今は三人の孫の成長・笑顔が皆を元気にしてくれてます。

S49　朝田　孝子
一度、同窓会したいですね！

S49　檜垣　美智子
長期的な疲労のせいでしょうか？何に対しても興味が持てなくなり、でも、60歳までには運転免許を取得したいです。

D9　安田　育雄
A28加藤氏と共にOB会によるIT研究会を毎年続けています。

D15　柴尾　茂
D15は、5名どうにか生きて居ります。

D20　結城　昭三
3年間入退院して居りました。皆様のご健康を祈ります。

D20　藤本　順三
もうすぐ、83歳になります。相変わらず卓球・グランドゴルフを楽しんでいます。

D32　六辻　丈夫
常任理事の皆様、お世話をおかけしております。

D40　香川　守雄
5月に小中学校の同窓会に50年ぶりに出席しました。初恋の人に53年振りに会い感動でした。

D45　小森　久子
同窓会で六辻先生にお会いしました。御身体を大切になさってください。

D45　田中　順子
60歳になってもますます元気に孫育て、遊びを楽しんでいきます。

D平7　光谷　真也
松島先生、また同窓会やりましょう！

C3　佐坂　光春
会長殿、役員の方々にお世話を頂き誠に有難うございます。元気にしております。

C16　藤元　京次
満88歳（米寿）を迎えることが出来ましたが、すっかり脚が弱りました。永い人生を振り返り感謝！

C34　岡安　喜博
昨年まで、スポーツジム・旅行など色々ご活躍されていた中島君が亡くなられ信じられません。ご冥福をお祈りします。

C34　妹尾　修
昨年（7月）同窓の中島真君死去、ご冥福をお祈りします。

C47　武田　龍一
いきいきエイジングセンターで、ノルディックウォーキングで健康増進指導を近年行っています。

C60　長谷川　峯子
昨年は、娘と海外旅行（バリ島）に行き、はまってしまいました。

A20　西村　半兵
卒業後、海軍特別幹部練習生として、大竹海兵団入団（作家、城山三郎と同期の敗残兵）

A24　小坂　慶徳
昭和19年4月入学、戦争ど真ん中の時代でした。

A32　今井　弘
プロの童話作家の師について、創作童話を習って10年、やっと童話らしきお話が書けるようになりました。

A32　渡辺　嘉朗
今年は、6回目の年男で72歳に成りました。町内・地域の子供達とのボランティア活動をしています。

A37　宇都宮　正則
7期28年間の吹田市会議員を退職し早5年、今は吹田市の選挙管理委員会の委員長をさせて頂いています。多忙の中ですが一生懸命頑張ります。

A39　南野　芳男
泉工の皆様お元気ですか。衣笠山のふもと、堂本美術館の真向かいに立命館大があります。立命館大の由来を書いた、孟子の一寿命は天命、修業に努め天命を待つ一の自然石が有ります。感銘を受け龍谷大で83歳、元数学教授と一般講座を受講しています。

A40　生駒　弘之
おかげさまで元気に過ごしています。健康の為にウォーキングを続けています。

A40　穐田　宏
昨年の10月からウォーキングと卓球を始めました。

A41　山本　喜久雄
日々、富士山を見ながら時々写真を撮っています。先日はUFOの様な雲を見ました。

A41　北本　治
大阪ウォーキングリレーで大正区へ、43年ぶりの正門を見て感激の反面、重圧感の無さに少しガッカリ、しかし懐かしい校舎を見て納得かな？

A44　深井　史郎
屋久島へ行き、7200年前誕生の縄文杉を見に約10時間歩き登山しました。

A58　野口　宣子
元気にしていますが、最近老眼鏡を購入しました。

M33　佃　亘
仙台市に在住30年。この度3・11東日本大震災に遭遇、大津波を止めた1本の自動車専用道が運命の分かれ道となる未知な一瞬。家屋・家族共に被害無く3・11は長い1日でした。

M35　加藤　憲章
古希を迎え優待パスの申請も嬉しいやら寂しいやら。月2回程度、妻とゴルフに行き、他は友人と月8回程のラウンドをさせて頂いています。病は気持ちと足からと思い頑張っています。

M46　尼野　輝雄
皆様も、酒・タバコを控えて歩きましょう。日立造船に勤務、今年は創業130周年を迎えました。サッカー部のOB幹事をしています。約65名。

E41　田中　啓治
健康第一に、仕事・遊び・孫の相手、頑張っています。

E41　玉置　憲治
年金生活中、ゴルフ・畑・ウォーキング・飲み会等で忙しい毎日を過ごしています。

E46　佐喜真　正行
明田さん、藤田さんお元気ですか？体操部OB・OG会を是非やりましょう。

E47　梶野　千栄延
2年・3年の時の恩師中坪先生のたより少林寺拳法同好会、発足時に練習風景をのぞかれたM41打場先輩。なぜか、胸が熱くなりました。元気です。

E48　平井　精一
久しぶりに泉工を訪問したけど見知らぬ人ばかり、E48卒では当然やね。でも泉工卒の新入社員はなぜか特別扱いしてしまいます。

平成23年度 会費・寄付納入一覧

（平成23年6月1日～24年5月30日締）

（敬称略）

●ファッション工学科

二、〇〇〇円
平14 川上絵利菜
一、〇〇〇円
平12 前川杏
平15 加世田真貴

●紡織・繊維工業科

三一、〇〇〇円
29 谷利行
一〇、〇〇〇円
31 八野義計（有志一同）
五、〇〇〇円
33 西岡一至
40 磨田昭男
三、〇九〇円
48 山本正己
三、〇〇〇円
11 笹田泰治
35 小浦洋治
二、〇〇〇円
44 岩崎勇次
20 宮薗勇
17 吉田保
15 大石博
43 長澤英一
37 政岡二郎
40 嶋田理
42 平鍋光寛
43 白岩孝一
44 疋田英二
48 松島伸枝
51 中尾美幸
一、〇〇〇円
12 林利一
14 藤崎豊彦
12 野田成男
16 小林直樹
17 沖由文
18 足田龍雄
20 二田泰三
21 疋田文雄
29 坂田功
31 横田
38 堺雄二
38 沼元清一
42 中尾義博

37 中村好太郎
44 天野はま子
22 新野孝夫
43 矢野章
63 村上達夫
16 松崎敏
18 松崎緑
38 久保田勇之助
40 池田未男
40 中村憲重
42 中村和智美佐子
44 山田信夫
46 朝田孝子
49 森田久須之助
12 森川口喜三
13 花田正勝
15 川田博史
16 沖奨
18 小橋昇
21 村上富雄
26 松田富雄
31 三国広
31 千頭貞夫
37 中尾敏孝
40 野田博章
43 伊藤勝造

●ファッション工学科

43 嶋田和美
44 寺西悦子
45 中尾博一
47 片岡良太郎
49 檜垣美智子

●色染・色染工業科

一〇、〇〇〇円
10 川北順一（遺族より）
16 中西隆利
34 中村清（遺族より）
37 中村久住
五、〇〇〇円
13 鎌田修一
17 中沢浩
30 小川治
43 高野加代子
三、〇〇〇円
13 濱口幸八
20 結城昭三
32 堀義憲
32 岡田孝太郎
33 西岡春樹
36 林幸宏
40 岡田順一
45 荒川博行
46 荒川博行
二、〇〇〇円
17 眞榮國彦
20 中森楠司
29 大島邦夫
37 俊原修一
38 十川征洋
41 岩城剛
43 多田司
42 樋口多代子
45 中浜由起子
47 浜口久子
一、〇〇〇円
59 永嶋君江
9 安田育雄
13 小椋圭一
15 柴尾茂
15 川端幾雄
20 濱本浪雄
20 中村友三郎
26 岸田守雄（遺族より）
29 玉木弘
29 蔦野義昭

21 鳴田豊
20 藤本順三
47 正美
43 岩城剛
38 広瀬之彦
29 瓜坂元一
29 岸岡暁
20 中川和夫
20 池田和夫
16 櫻井邦彦
15 辻野久夫
10 栗田重見
32 隈元博久
32 古澤通敏
35 野口勝男
38 山本健一
42 小森久子
45 田代文代
47 勝浦典子
14 内田信一
20 宮崎昭夫
21 村田嘉三
32 六辻丈夫
16 栗原源太郎
38 泉正敏

●窯業・セラミック科

六六、〇〇〇円
14 藤原弘純
一一、〇〇〇円
15 清原均
一〇、〇〇〇円
32 曾根朗
六、〇〇〇円
平23 辰巳実希
五、〇〇〇円
33 白髪明義
43 高野和行
三、〇〇〇円
16 岩田義治（遺族より）
17 木村亮太郎
32 日下部繁雄
39 松下准文
二、〇〇〇円
3 佐坂光春
14 谷森弘秀
16 近藤鎮
20 木村重次郎
27 竹中勇
32 宮秀多
34 岡安喜博
38 中村公男
40 岩本貢
40 木地清司
42 稲荷佳樹
60 長谷川峯子
一、〇〇〇円
11 石田富三
16 浜口隆信
16 阿瀬川勇二
17 古武正幸
18 福井宏

61 堤博之
46 中山悦子
42 西羅喜代志
40 渡辺一
37 香川佳廣
36 筏場宣博
36 国分滋朗
35 林田慶三
34 松田直久
34 永岡正憲
33 小林永典
32 宇野忠男
31 井上弘之
30 福森文夫
30 岡永武司
平1 谷口康子
平4 新子泰右

32 上野弘道
33 朝倉由弘
33 安武滋夫
34 藤下譲
34 琵湖聰一郎
35 吉田弘
36 館徳行
37 塚本茂之
37 香川守雄
40 沖康江
45 井上真知子
46 阪井雅美
63 泰松真知子
平3 平7 光谷真也
30 遊津勝弘
30 松谷保

12 岡見伊三夫
16 藤元京次
16 佐藤菊松
17 吉野繁
20 中原範久
27 田中武
33 木内政雄
38 東秀雄
39 藤本喜久男
40 橋本恵治
42 三宅政広
47 武田龍一
24 池田奇
25 大川
29 古川明二
30 橋本隆治
31 金澤静雄
31 杉原力太郎
33 河本勝
33 一柳雅春
34 大森節男
35 西尾哲夫
35 滝川泰三
36 浅田康弘
37 益田治
37 浜田一幸
37 畑正幸
40 福盛茂記
41 久保井義夫
41 山口秀二
平4
平11 船井穏

●応用化学・工業化学科

一〇〇、〇〇〇円
18 大道邦雄
五、〇〇〇円
18 河村祐治
二七、〇〇〇円
36 クラス会一同
二、〇〇〇円
32 浜本芳彰
一、〇〇〇円
12 山本誠（遺族より）
20 碓井常夫
28 濱中富三
40 山本俊司
五、〇〇〇円
9 村上正豊（遺族より）
14 竹花稔二
32 端崎孝
33 高野國博
39 向田豊
41 根来繁雄
44 深井史郎
四、〇〇〇円
34 尾上一雄
三、〇〇〇円
12 大都城是雄
30 市山澗博己
30 田中輝夫
32 和崎八寿蔵
32 上田賢司
36 林功
36 岡崎弘幸
39 南野芳男
40 浅見正夫
42 富田清

24 藤多義隆
29 古川明二
31 大江昭
31 平尾武義
33 西村幸雄
34 妹尾修
34 徳田耕一
33 小谷一郎
35 竹内英昌
35 久保井勇治
36 井上憲一郎
37 福田利明
37 山崎正三
39 金井史郎
41 中居徳夫
42 岡田敏男
11 小杉俊輔
平16 矢合洋一

16 村上仁
30 中谷省二
31 岡本国雄
34 大西弘一
36 稲葉十四茂
37 宇都宮正則
37 母里昌弘
42 山本政和
45 今村正

28 熊沢暢宏
28 藤本貞二郎
28 井上善介
30 飯田正勝
31 広川雄造
31 岸岡映二（遺族より）
31 脇進
32 神山利次

28 岡田充弘
28 坪田啓
28 丸山信次
28 吉田時雄
28 上田隆一郎
28 加藤正幸
28 松浦犬飼功
28 杉野道雄
28 鎌吉
28 唐崎正則
28 桑田進
28 門文彦
28 河合利明
31 浦健
32 谷口弘
32 園山栄

45 岩倉和男
45 戸口佳保
49 山畑克明
二、〇〇〇円
63 近藤恒夫
6 大砂古登
22 山田雅也
24 小坂慶徳
27 竹内栄一
29 半兵
30 平野司郎
31 津田義貞
31 荒木邦彦
31 若松喜
31 赤城英有
28 小森堆有
34 大森節男
35 西尾哲夫
35 滝川泰三
36 浅田康弘
37 益田治
37 浜田一幸
37 畑正幸
40 福盛茂記
41 久保井義夫
41 山口秀二
平4
平11 船井穏

33 亀尾貴
32 今井弘
32 井上克己
32 芳山恵則
32 渡辺嘉朗
32 松井
33 本摩恒利
34 坂井輝也
34 堀弘一
35 高橋章
36 光定末次
36 名小路昌輝
38 中尾章
38 森田政義
39 稲田宏
40 大沢定
41 仲石五郎
42 朝田健蔵
42 大段久幸
42 浜田進
42 山本喜久雄
45 豊島良次
49 高橋めぐみ（平22年度分）
58 野田宣子
一、〇〇〇円
10 岡田孝司
12 田口一郎（遺族より）
12 長谷川秀夫
14 大島武二
15 大橋和美
16 楠隆造
16 北村定
16 平田稔
17 橋本博
18 波江野憲良
20 近藤栄
22 湯原照雄
23 桑坂和雄
26 藪本時雄
27 吉田
28 丸山
28 坪田
28 岡田
28 熊沢
28 高井真三
28 駒田司
28 井上善介
28 藤本貞二郎
30 飯田正勝
31 広川雄造
31 岸岡映二（遺族より）
31 脇進
32 神山利次

46 近野弘之
46 井澤真魚（平22年度分）
41 朝田健蔵
42 浜田
42 山本喜久雄
45 豊島良次
46 近野弘之
35 向井守親
35 原守
34 田坂覚
34 木村富蔵
34 坂井輝也
34 堀弘一
35 高橋章
36 光定末次
36 名小路昌輝
38 中尾章
38 森田政義
39 稲田宏
40 大沢定
41 仲石五郎
42 朝田健蔵
42 大段久幸
42 浜田進
42 山本喜久雄
45 豊島良次
46 近野弘之
46 井澤真魚（平22年度分）
58 野田宣子
一、〇〇〇円
10 岡田孝司
12 田口一郎（遺族より）
12 長谷川秀夫
14 大島武二
15 大橋和美
16 楠隆造
16 北村定
16 平田稔
17 橋本博
18 波江野憲良
20 近藤栄
22 湯原照雄
23 桑坂和雄
25 来田幸博
26 藪本時雄
27 吉田
28 丸山
28 坪田
28 岡田
28 熊沢
28 高井真三
28 駒田司
28 井上善介
28 藤本貞二郎
30 飯田正勝
31 広川雄造
31 岸岡映二（遺族より）
31 脇進
32 神山利次

28 杉野道雄
28 鎌吉
28 唐崎正則
28 桑田進
28 門文彦
28 河合利明
31 浦健
32 谷口弘
32 園山栄

49 井上康弘
45 西岡俊和

32 小嶋広士
33 持水満義
33 加福辰敏
34 門脇二朗
34 木崎紀夫
34 義輝
34 牛尾治夫
35 寺田義彰
35 戸田勝裕
35 多井湧之助
35 堀硕一
35 上田浩睦
37 駒田喜弘
38 南條亮一
38 本才好彦
38 坂井尚之
37 谷正一
36 林常蔵
35 畑善三郎
35 畑暢一
35 丸橋紳嗣朗
35 水谷守
35 小林功
34 濱口健太郎
34 本多辰雄
32 池下征一
28 中山茂義
35 大塚康夫
35 伊藤英明
35 貴志進
36 猿田一男
39 山内洋一
41 佐々木淳夫
41 堀田卓
18 浦井清 二,〇〇〇円
20 正月義春
31 圓山栄一
33 祐代重三
35 金高武
35 矢田寛
35 北村秀昭
38 久家叡治
41 木村智弘
46 総野鈴雄

●電気科
43 谷川正一 一,〇〇〇円
52 古座鈴三
41 福永哲哉
41 田中啓治 三,〇〇〇円
41 玉置憲治
41 山口実 二,〇〇〇円
49 池田隆人
41 桑田勝弘 平4 一,〇〇〇円
41 藤田興一
41 中原英男
42 戸田省吾
44 松浦幹
47 梶野千栄延
48 野間進
48 中田美記雄
50 吉田匡宏
52 藤本喜久雄
57 稲山耕史
59 大森武
平5 菊池進
43 大慶満博
52 上妻敬二
43 茨雅章
41 片山卓治
41 松本敏彦
平2 桑藤健一
41 小山昭治
41 河村保志
43 東本吉司
46 佐喜真(正行)
48 川上光男
48 平井精一
49 辻一高
51 比嘉生展
52 谷口和広
57 片岡登
62 西村英晃
平10 垂水良祐

32 梶野勝司
33 新家重雄
34 池下征一
34 本多辰雄
34 濱口健太郎
35 丸橋紳嗣朗
35 水谷守
35 小林功
35 畑暢一
35 郡善三郎
35 堀井孝剛
36 常蔵
37 谷正一
37 駒田喜弘
38 坂井尚之
38 吉村勝
39 高元和彦
40 池田隆司
40 祐伯信男
40 柳澤貫二
40 河村日出男
39 津田光雄
39 勢造一雄
39 片岡祥光
25 富永榮一
25 藪内修
25 中森敏家
25 諸本登
25 藤本正治
24 藤元隆三
24 丸山幸雄
20 高橋利彦
18 一,〇〇〇円
41 堀田卓
41 佐々木淳夫
39 山内洋一
36 猿田一男
35 貴志進
35 伊藤英明
35 大塚康夫
32 中山恵介
28 平山茂義
31 圓山栄一
33 祐代重三
35 金高武
35 矢田寛
35 北村秀昭
38 久家叡治
41 木村智弘
46 総野鈴雄
20 正月義春
26 三原輝正

●化学機械科・機械科
20 玉村謙太郎 一,〇〇〇円
34 佐々木實
35 高武
37 間文彦
33 新野種吉
36 大部征四朗
37 東忠治
37 岡功
38 畠中恒英
38 高橋恒晴
39 宮脇桥雄
39 落合正明
39 田中信夫
40 横田豊
41 塩谷孝
42 野上通樹
45 澤昭二
46 尼野輝雄
48 福永智彦
52 山原彰
63 神田元
平6 三宅辰彦
平23 畦勇太
35 余木克久
35 安芸止男
35 本荘輝夫
35 神田功治
36 増田義雄
35 東川博治
35 玉崎継一
35 松田定一
36 華山嗣英
37 石川博信
38 葛城峯男
38 小島茂雄
38 植田芳忠
39 柴田迪之
39 岡田久男
39 小西正弘
40 三宅孝史
42 井上裕信
43 酒井士郎
46 松尾一郎
47 辻田稔
51 金沢正敏
61 圓山猛
平1 中川勇二
平7 林賢

●旧職員
一,〇〇〇円
34 西尾壽一
34 蔭山宏
34 戸上達夫
33 佃亘
33 増田隆義
33 池田正美
33 三原富性
33 松本正則
32 辰巳勲司
32 平井勲
32 藤原乙太郎
32 福永歳蔵
31 原田弘
31 中川政美
30 永沼公
30 角田彰宏(遺族より)
28 藤原保
28 倉持鉄雄
28 柳本義典(親族より)
26 松岡宏
26 柳澤日出男
26 岡部利彦
40 山口健次郎
40 生駒弘之
40 西尾憲一
40 北本治
41 山村清治郎
41 馬場昭光郎
41 岩佐元春
42 高橋吉男
42 深井正輝
41 徳島金五郎
41 長副和正
45 倉澤光男
44 津川淑子
43 吉田隆
43 朝倉則男
45 西本和三
46 井上一良
48 岡部篤嗣
58 篠原文敏
60 塚原康伸
61 馬屋原淳一
平1 生駒正
平4 滝下正
平15 立石永一
58 駿斗由枝
61 武富政彦
平3 菊池政治
平15 小野正太

●現職員
一,〇〇〇円
巽利春

一,〇〇〇円
堤孝之
大久保真弓
沢井厚
浜中由朗
正埜哲子
島田一
石田幸助 三,〇〇〇円
中坪籌満
松下眞治
西原義秀
黒田誠
久野祐滋

名簿の取り扱いについて

個人情報の流失防止の観点から、すでに発行いたしました大阪白水会名簿の頒布を取りやめております。

在庫分の名簿につきましては、適切な方法で廃棄処分にすることにしております。

ただクラス会開催などのために現状のクラス名簿を必要とする場合につきましては、卒業科・年および連絡責任者名を明示の上、常任理事長までお問い合わせ下さい。(ご来校いただければベストですが)。

なお、会報を全会員に発送することや在校生の就職活動の利便性の面から言えば、卒業生の名簿把握の必要性は高いものがあります。

このあたりの機微をご理解いただければ幸いです。

総会(懇親会)のご案内

大阪白水会に より多くのご参加を得るために

毎年7月の第2金曜日の夜に行われておりました白水会総会でありますが、ここ2、3年参加人数の減少を省み、昨年度より土曜日の昼下がりに開催する運びとなりました。趣旨ご賛同の上、皆様の多数のご参加をお待ちしております。

- ●総会の会場でクラス同窓会・クラブOB会を開きませんか。
- ●今年もビンゴ大会で賞品贈呈あり。
- ●総会は今年卒業された方の歓迎会でもあります。今年卒業された皆さんぜひ参加下さい。

●日時 7月28日(土)PM2時
受付PM1時半より

●会場 大成閣
TEL(〇六)六二七一一五二三八
(大阪市中央区東心斎橋1丁目18番12号
心斎橋大丸本館・北館の間東へ約100米)

会費 六、〇〇〇円
ただし、平成二十三・二十四年の卒業生は二、〇〇〇円

議事の時間を短縮しますので会報の決算、予算等をお日通しおき願います。